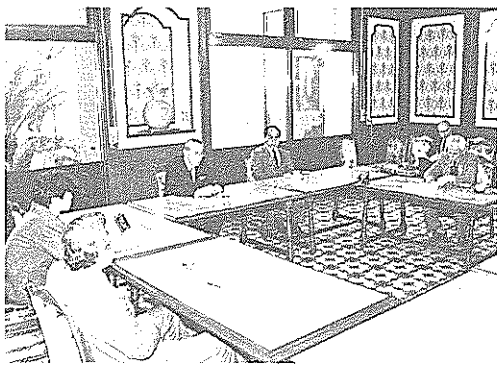




座談会

南国市の将来を語る

瀬戸大橋開通を迎えて

望まれる

観光資源の開発

瀬戸大橋開通を迎えて今後南国市がどう発展していくのかを考える座談会が、三月二十二日に開かれました。

司会 高知空港がジェット化し、四国横断自動車道が一部開通、そして瀬戸大橋の開通を迎えました。また、今後高知新港や四国横断自動車道の全面開通なども控えて南国市は将来性が非常にあると思いますが、今後の展望を聞かせてください。

小笠原 中継地としては忙しくなるでしょうが、急速に発展するというのは考えにくい。現在の南国市は田園都市としての性格が大きい。企業誘致も必要ですが、まだ受け入れ体制が十分ではありません。

出席者（敬称略）

南国市長

小笠原喜郎

南国市商工会長

吉村雅男

ミコフ機械株式会社

深見幸三郎

南国市農協組合長

山本通夫

南国市文化財審議委員会委員

乾常美

司会

乾常美

高知新聞社広告部長

影山邦彦

ません。諸条件を整備して田園都市から田園工業都市へと、また第一次、第二次、第三次産業のパラメータがとれた都市へと発展するよう努力していきたい。

吉村 ジェット化によって園芸作物を消費地へ早く運ぶというメリットはあったものの先端企業の進出は市の都市計画による制約や人的資源、資材の不足ということもあり期待はずれに終わりました。観光面についても観光資源は多いものの開発の遅れによって通過地となってしまうと思います。今後は観光ルートなどの面的な整備が必要で、本四架橋を起爆剤に道路網の整備などを進め、人の流れを止めるような開発を進めていかなければなりません。たとえば「土佐日記」を前面に出して市を売り出すようなことも考えては、観光客が求める何かをつくらなければ結局は通過地として終わってしまうか。

山本 農業では輸送が大きな要素となります。現在九八割がトラック輸送であり、架橋によって時間と距離が短縮されることは園芸農業には大きなメリットになります。司会 徳島県を例にとると、明石大橋や関西新空港をにらんで農業に力を入れているようです。時間が短縮されると鮮度の高い物が消費地に送られるということで常識的に考えても有利ですね。

司会 南国市の将来の夢というところはどういうことになるのでしょうか。深見 南国市は高知市の衛星都市として発展していくことになると思います。現に筑波研究学園都市には企業などの研究機関が集中しています。吉村 学園都市にも核となるもの

将来は研究学園都市に

は必要です。現在南国市には大学の農学部があります。それを生かして農業機械の高度化などを図り、農業の発展に結びつくような学園都市というところから始めては。小笠原 働く場と教育の場の心配がないような、人々に住んでみたいと思われる街づくりを行ってほしいと思っています。

市入りした観光客が歴史民俗資料館に行き、そこで概略を知って各観光地へ行つてもらうようなシステムを確立しては。

深見 流通や製品輸送、資材の購入などにメリットがあり、企業の立地を積極的に進めてもよいのではないのでしょうか。高専などの卒業生が県内に留まることができるよう受け皿を整備してもらいたい。南国市は県内でも一番恵まれた条件を持っています。県全体から見て南国市の位置付けをする必要があるのではないのでしょうか。市を全国的にPRする何かがあればよいのですが。

小笠原 高等教育機関や研究機関も必要だと思っています。

吉村 下請けのすそ野はあるのですが、先端企業の立場から見ると大学に工学部がないことからすぐに使える人材が少ないということがあるようです。

吉村 学園都市にも核となるもの